

福島眼科集談会のお知らせ

(福島眼科集談会 認定事業番号 59055)

拝啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度 福島眼科集談会を下記のとおり開催いたします。

専門医認定事業 1 単位を予定しております。

万障お繰り合わせのうえご出席くださいますようお願いいたします。

なお、集談会終了後に、新年のご挨拶並びにお祝いを致したく、新年会を予定しておりますので、合わせてご参加いただけますよう御案内申し上げます。

敬具

記

[日 時] 2019年1月19日(土)
[会 場] ザ・セレクトン福島
福島市太田町 13-73
TEL024-531-1111
[会 費] 10,000 円(講演会のみ 5,000 円)

16:00～ 講演会

「黄斑ジストロフィの分類と診断」

国立病院機構東京医療センター

臨床研究センター(感覚器センター) 室長 角田和繁 先生

17:00～ 眼底読影制度管理委員会から

17:15～ 福島県立医科大学医学部 眼科学講座後援会総会

17:30～ 新年会

※ 15:00より福島県眼科医会理事会を開催致します。

福島県眼科医会

会長 土屋 牧雄

福島県立医科大学眼科学講座

教授 石龍 鉄樹

特別講演

「黄斑ジストロフィの分類と診断」

東京医療センター臨床研究センター（感覚器センター）

視覚研究部 角田和繁

黄斑ジストロフィ（Macular dystrophy）とは、遺伝学的な原因によって両眼性、進行性の機能障害が黄斑部に生じる疾患の総称です。代表的な疾患として、スターガルト病、錐体杆体ジストロフィ、卵黄状黄斑ジストロフィ(ベスト病)、X染色体性若年網膜分離症、オカルト黄斑ジストロフィ（三宅病）などが挙げられます。

これらの疾患分類は、もともと眼底所見や電気生理学的所見などの表現型（phenotype）を元に確立されたものですが、最近の分子遺伝学的研究の発展によって表現型のみならず遺伝子型（genotype）を元にした分類や診断が重要となりつつあります。

黄斑ジストロフィは症状の進行による社会生活への影響が大きく、厚労省の指定難病に登録されています。しかし同じ指定難病の網膜色素変性症に比べて多様性があり、各疾患の詳細について詳しく知る機会は少ないかと思えます。

本講演では黄斑ジストロフィのなかから代表的な疾患を取り上げ最新の情報を提供します。また、それぞれの疾患を診断するための検査法やコツについて、分かりやすく紹介いたします。

角田和繁（つのだ かずしげ）先生 御略歴

- 1991年 慶應義塾大学医学部卒業
慶應義塾大学眼科学教室入局
- 1993年 国家公務員共済虎の門病院 眼科後期専修医
- 1996年 理化学研究所脳科学総合研究センター研究員
- 1999年 慶應義塾大学眼科学教室助手
- 1999年 足利赤十字病院眼科医長
- 2003年 東京医療センター感覚器センター視覚生理学研究室長
- 2013年 同視覚研究部長

現在に至る